

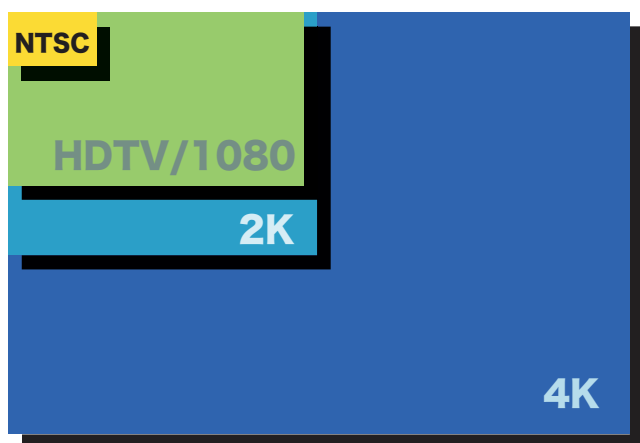
New Digital Video Workflow

～HDTVから2K、4Kへ

これからのデジタルビデオ/シネマへの適合へ

現在のデジタルビデオの範囲はHDTV(1920x1080, 1280x720 pixels)を超えて2K(2048x1556)や4K(4096x2540)の解像度へ向けられ、さらに高フレームレート化や色深度の高ビット化により映像ファイルサイズの巨大化はもちろんのことそれに対抗するための新しいロスレス圧縮、ウェーブレット圧縮などの非圧縮だけではない様々なフォーマットが混在するにあたり適切なストレージの選択とネットワーク設計が求められています。

様々な画像解像度



多彩なファイルサイズ要因

非圧縮、ロスレス、ウェーブレット？

色深度 8bit、10bit、16bit？

RGB 4:4:4、YUV 4:2:2/4:2:0？

求められる高速ストレージとネットワーク

デジタルビデオ制作においては個人単位での作業範囲を越え、複数での共同作業の段階へ移行しています。単一マシンでの作業はかえってコストが高くなります。データの移行、共有化に簡単な外付けストレージやTCP/IPネットワークを使ったところで上記のデータを扱うにはそのインフラが乏しいためSANによる高速転送が求められています。

